

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合支援センターエスポワール尼崎		
○保護者評価実施期間	2024年 5月 1日		2024年 5月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	2024年 5月 1日		2024年 5月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 17人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 6月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の広さ、過ごしやすさ	生活空間において広々とした造りで子ども達が過ごしやすいようにスペースをとっている。また床材を工夫してスポンジ素材を入れている。万が一転倒した場合にも衝撃を吸収してくれる。入浴も2箇所あり、たくさんの方に入浴支援を行えている。	広さがある分、子供たちとスタッフ間の行き来の導線が難しく、目が離れないように動くのが大変な時もある。物品の配置やベッドの位置を工夫したりを利用者の受け入れ状況に応じて臨機応変に行っていく必要がある。
2	保護者が事業所の支援に満足している	アンケート結果より、日々のさまざまな遊び、イベント等充実させていることや、機能訓練職員を配置したり、活動の様子をSNSにアップしたり工夫していることにより満足度が上がっているように感じる。	研修や訓練等をもっと積極的にSNSにわかりやすく発信していけると、より安心して利用してもらえると感じるため周知を徹底していきたい。
3	スタッフ間での連携、共有が出来ている	研修や訓練、日々の支援に関する毎日の話し合い等スタッフ間での情報共有をしっかりと行っている。わからないこと、何かイレギュラーなことが起こった場合にそのままにせず、すぐに連絡、相談を全員が行うように心掛けている。	情報の共有後、保護者への周知がまだ薄い部分がある。こまめに連絡をとり、周知を心掛けていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修への取り組みが不十分	日々の支援に追われて研修を受けに行く時間を十分にとることが出来ていない。	積極的に研修を受けられるように声掛けをしていく。
2			
3			